

第3回 設立準備会(全体会) 記録

令和5年1月10日(火)に防災センターにて、第3回北東部地域協力ネットワーク設立準備会(全体会)を開催しました。当日は、22名のご参加をいただきました。前回令和4年11月からの準備委員会での議論を報告、活動方針、会則(案)、役員(案)などについて現時点の案を議論し、承認をいただきました。また、設立総会に向けて、設立後の活動イメージについても、何から取り組むべきか全体でイメージを共有しました。

1. 会則(案)・推進体制について

準備委員会の検討結果、会則案、役員体制などについて、資料に基づき説明を行い、各グループにて、意見を話あった。

1.活動方針について

- ・キャッチフレーズ下の「ほくっと」の解説は、「心あたたかい様子」⇒「心あたたまる」の方が良い
- ・活動方針には賛成！

2.会則(案)について

- ・会費が無料というのが参加しやすくてとても良い
- ・一方で持続可能性を考えると、ボランティアだけでやるのも限界なので、将来的には賛助会員などの運営経費も考える必要があるのでは
- ・会則5条第1項の「共助の自治組織」⇒「共助の地域活動組織」の方がわかりやすいのでは
- ・会則5条第2項の利益を目的とした活動をしてはならないという点について、一時的な収益等も発生する可能性があるのでは
- ・会則については、今日だけでなくもっと丁寧な議論が必要ではないか
- ・会則が固い。ですます調など、やわらかくならないか。
- ・誰でも自由に会員になれるが、名簿等の管理や入退会の管理はどうするのか

3.推進体制について

- ・役員の男女比は5:5とし、会則にも決めてしまった方がよいのでは
- ・役員を考える際に、地域的空白も考慮したいが、ゆくゆく埋めていくのでも良い
- ・役員さんは、もっといろんな人に加わってほしい
- ・会則の役員という言葉が固い、もっとやわらかくしたい

4.その他

- ・補助金だけでイベントは難しいかもしれない。
⇒イベントの際の実費はOK
- ・農家の参加をお願いする場合は、きちんと代金を払う仕組みも必要
いるのでは？
- ・若い世代を巻き込むのは良いが、今を担っている世代の地域のために！という魂が不足している印象がある。
効率優先だけでなく、どうマインドを引き継ぐかも重要
- ・定年後の居場所として、地域のつながりをどう作るか、
現役から徐々に地域につながる仕組みも重要



2. 設立後の取組・活動計画について

設立後、本年5月には事業計画を決めて補助金の交付申請を行う必要がある。これまでやりたいことのアイディアはあるが、まずは設立初年度の取組として優先して行うべきもの、年間のスケジュール感などについて議論した。

1. イベントについて

- まずは、何を置いてもひとつイベントやってみて、その過程で仲間を増やし、活動を周知していきたい。うまくいかないかもしれないが、まずは何かやって学んでいけば良い
- 参加のハードルを下げることで、ネットワークについて知ってもらうことも重要、誰もやらないようなイベントも面白いのではないかと（喫煙者を集めて、たばこを吸う会を開催、その後でみんなでゴミ拾いイベントなど）
- イベントには、農家のほかにも消防署やいろいろ協力してくる団体もある。それらをつなげるイベントにしたい。（AED設置個所や消防団などめぐり、マップ作製）
- 北東部はどうしても縦に広い。伏見通りなどを活用する案もあるが、逆に同じイベントを各ブロック単位で実施して、足が不便な高齢者や障害のある方も参加できるようにしてはどうか。市などのバスで輸送するのも必要ではないか。
- この準備会参加メンバーでも、イベントはぜひ協力したいと言ってくれているので、いろいろ団体の横の連携をつくるきっかけにしたい。

2. 広報について

- まずは、なんらかのSNSを立ち上げることが必要
- ロゴとキャラクターの募集もすぐに行いたい。一例として、めぐみちゃんメニュー（学生にメニューのレシピを募集している事業）は募集から、審査等の期間を含めれば2ヶ月はかかる。ロゴやキャラクターの募集も2か月くらいかかるので、早めに取り組む必要がある
- ほかの地域協力ネットワークとも連携していきたい（ラジオ事業など）

3. 年間計画について

- まず、イベントの実施を柱に据えて、そのほかの事業をそれにあわせて逆算してみてもどうか。イベントをフルーツの時期（それに限らないが）とすれば、秋頃に実施すると仮定すると、ロゴの表彰もそれに合わせるならば、まず最初にロゴから取り組む必要がある。
- 会議についても交流会的なものもやるかもしれないが、まずはイベントを中心に考えて、いつごろ、どれくらいの頻度でやるべきか考える必要がある
- 行うイベントについて、あまり大きなものでは令和5年度中に実施できるか自信がない。場合によっては、大きなイベントは令和6年を視野に取り組むのも手かもしれない。

3. 今後の予定について

今回の全体会をもって、準備会は終了として、今後の準備委員会で議論を進め、次回については設立総会にて、皆さんにお集まりいただく。

総会の日程は現時点では2月28日を予定⇒ 都合により、2月16日（木）に変更

場所は、いつもと同じく、保谷防災センター講座室にて行う。

また、市報でも設立について周知を行う。⇒3月1日号での掲載を予定

本日、出し切れなかった意見については後日メールにて意見フォームを送るので、意見をお願いしたい。

